

2026年度 ぷちっこぱるこ

2026（R. 8）. 10. 22.
明王台シャローム幼稚園



地域の子育て応援！！　～
未就園児と保護者の方を対象として～

ぷちぱるレター　10月号　（Vol. 4）

“言葉”で広がる　子どもの世界

ヒトであるからこそ使用できる言語は、コミュニケーションの基本です。この言語・言葉を獲得することは、ヒトとして生まれて自然とできるようになるものではありません。赤ちゃんがお母さんのお腹の中にいるときから聞いている言葉や物音から、赤ちゃんの脳にはきっちりと言葉とそれを発する人となりがキャッチされて生まれてきます。だからこそ、自分に語りかけてくれる人に反応し、安心感を覚えます。

秋が深まるこの季節。読書・・・とまではいきませんが、今回のぷちぱるレターでは、子どもたちにとっての“言葉”を考えてみたいと思います。



～　０歳からの　読み聞かせ　～

乳幼児の発達に欠かせないのは、“五感”を刺激する生の体験です。古くから、“三つ子の魂百まで”とあるように、近年では、科学的根拠をもって、“人間の基礎は3歳までの言葉環境でつくられる”※1と言われております。“3歳までに、親が話しかける言葉の数が多いほど、子どもの語彙は速く増えていき”、言葉を習得する力をおさえるのは、“ダメ！やめなさい！等、何でも否定から入る話しかけが多い状況”だそうです。（飛び出しや大けが等を防ぎ、社会生活のルールを学ぶためのしつけや命を守る状況は除きます）

子どもの脳が刺激され、世界が広がる環境は、実は、私たち大人の心持次第でいかようにもなります。「どの育児グッズにしようか」、「知育教材で言葉が増えるかも」、「何歳からタブレット学習を始めよう」等、“何を与えるか”を考えることがあるかもしれません。ですが、物以前に、“大人の方から、子どもがしていることに関心を持つこと”、“そこで見えてきた気持ちが行動に、言葉をつけてあげる”関わりが重要です。

例えば、「これで静かに遊んでおいてね」と「積み木」を与えるより、その子が「積み木」で何をしたがっているのか、よく見て共感する方が大切なのです。積み木が当たったら「こんこん！」、落ちたら「ころころ！」、思う通りにならなかった時には、「高く積みたかったのかな。くやしかったね。」等、言葉にならなかった気持ちや動きに共感し、言語化する関わりが、子どもの心と知性を育てていきます。



そうはいっても、何をしたいのかよく分からない赤ちゃんに、「どんなふうに話しかければいいの？」、何をやってあげてもイヤイヤ期真っただ中の2歳児に、「その気持ちにどう共感したらいいの？」、と悩まれる方もいらっしゃるかもしれません。

そんな時こそ、「絵本の読み聞かせ」です。「0歳の赤ちゃんに、絵本が分かるんですか？」と思われるかもしれませんが、“0歳だからこそ”、です。「絵本は心のへその緒」※2という、松居直（まついただし）さん(福音館書店の創業者)の言葉があります。「早く文字や数字を覚える子にする」、「将来、たくさん本を読む子にする」ことが目的ではありません。松居さんは、「赤ちゃんにとって絵本は、わらべ唄や子守唄のようなもの。口でお乳を飲むように、耳に入ってくる言葉を食べるのでしょう。言葉を食べるとき、気持ちも一緒に感じ取るのです。」と言われております。

2歳ぐらいになると、絵本を読んでいても、子どもがちっとも聞かず、立ち上がったり、ふらふら部屋の中を歩き回ったりすることもあるでしょう。それでも良いのです。「話しかけないと！」、「聞かせないと！」と思うと、大人も子どももストレスです。大人が勝手に読んで楽しんでいれば、それで OK です。“お母さんは、この絵本が楽しいから読んでいるの。聞いても、聞かなくてもいいけど、こんなに楽しいお話し、聞かなきゃ損よ！”ぐらいで良いそうです！

“0歳からの読み聞かせ”が、豊かな人生の入口です。お出かけをして、四季折々の変化を感じたり、美味しい食べ物を味わったり、泥んこ遊びをしたり、コンサートで生演奏を聴いたり・・・・。五感で感じる質の良い実体験に勝るものはありませんが、“絵本との出会い”こそ、0歳から誰でもできる、五感が刺激される豊かな体験です。ページをめくる音、読み聞かせてくれるあたたかい声、その時のぬくもり、紙のにおい、本の形・・・・。心に残る読み聞かせは、やがて子ども達の心の中で、想像力の源になっていくのです。



※1 『3000万語の格差　赤ちゃんの脳をつくる、親と保育者の話しかけ』(ダナ・サスキンド著、掛札逸美訳、明石書店、2018 年)
※2 『絵本は心のへその緒』(松居直著、NPO ブックスタート、2018 年)

今月の絵本 『ぽんちんぱん』 福音館書店
柿木原　政広　作
定価990円(税込)



「ぱんぱん・・・」とリズミカルな言葉とともに食パンやあんパンなど親しみのあるパンたちが登場します。
破裂音の楽しさとリズムのいいテンポに、一度読むといつの間にか「ぱんぱん・・・」と口ずさんでしまうほど、頭にのこる響きがやみつきになってしまいます。

次回ぷちっこぱるこのご案内



● 12月19日（土）10:00～
“なりきりごっこあそび”
～「小人のくつや」と一緒に
クリスマスパーティー♪～

※向丘幼稚園の先生方が担当されます。
毎月お誕生日のお祝いがございます！

《 お問い合わせ 》“愛”みんなにいつまでも “LOVE” for You All, Forever
学校法人のぞみ学園
明王台シャローム幼稚園〔幼稚園型認定こども園〕（住所 :福山市明王台1丁目2-7）
TEL ： 084－951－6006

